



岡村 恵子

① 日本共産党議員団

② 富岡町 1 3 8 1 2

③ (24) 2 7 3 8

④ 昨年は台風被害や新型コロナウイルス感染症の広がりなど苦難の年でした。

そして、コロナ禍で先の見えない中、年明けとなりました。PCR検査の拡充、医療崩壊を防ぐための対策、雇用や事業者支援、少人数学級など、行政の打つ対策が求められます。人間はひとりでは生きていけず「公」の責任は重大です。税金は、市民のいのちと暮らしを守るために。今こそ国と地方が力を合わせ政治が大きな役割を果たす時です。



鶴見 義明

① 日本共産党議員団

② 会沢町 5 3 6 1 1

③ (85) 3 6 8 7

④ 令和元年は東日本台風で甚大な被害を受けました。さらに昨年は新型コロナウイルスで、営業自粛や失業、学校の長期休業などで市民のくらしは心身ともに大変疲弊しています。こういう時に行政は何をすべきか考えなければなりません。財政が厳しい状況であればしっかりと優先順位を考え、市民のくらし、生命、財産を守るための市政に転換しなければなりません。その為に全力で頑張ってまいります。



井川 克彦

① 政友みらい

② 植野町 2 1 3 8 1 1

③ (24) 2 8 4 0

④ 昨年度、佐野市は復興元年として秋山川改良工事が激甚災害対策特別緊急事業に採択されましたが進捗率はまだ二割と言うこと。さらに上流の中山間地では、橋が流され陸の孤島状態や沢から流れ出た石が畑を埋め尽くした状態のまま自助努力に頼らざるを得ない状況も続いています。さらにコロナ禍が追い討ちをかけ大きな社会変化が市民生活に影響を与え、飲食店が今までにない苦境に追い込まれています。この様な中、強く優しい行政の対応が求められます。